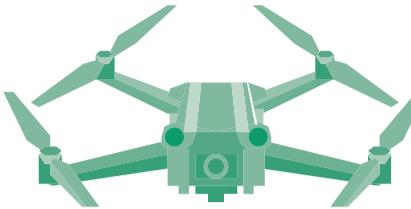


木田おりべ
(自民党)

板橋区行政としてのドローン保有とその運用について問う



〔質問〕災害時の上空から迅速な情報収集や避難誘導などにも活用できるドローンを板橋区行政が保有し、運用することを求める。見解は。

〔区長〕区民の安心・安全につながる災害対応への活用を最優先としつつ、様々な分野での活用も念頭に、ドローンの有用性や保有に向けた課題についての検討を進める。

スポーツチームとの関わりについて問う

〔質問〕区立体育施設の指定管理者が、あらゆるスポーツチームと連携した自主事業を行えるよう後押しすべき。

〔区長〕スポーツチームと連携したスポーツ振興に関する事業の実施について、指定管理者と協議していく。

行財政改革の必要性について問う

〔質問〕公共施設使用料改定にあたり、区民負担をお願いする場合は、行財政改革とセットで取り組むべきと意見した。どのように整理したのか伺う。

〔区長〕これまでも様々な行政改革を不斷に実行し、経営資源の最適化に努めてきた。今後も区民負担を求めるだけでなく、事業効果を見極めながら、行財政改革に取り組む考えである。

元山芳行
(自民党)

職員のパフォーマンスの向上がもたらされ、良質な区民サービスが提供できると考える。そのための心理的安全性を確保することが最重要があるが、見解は。

〔区長〕心理的安全性の高い職場は、職員間で活発に意見が交わされ、生産的で成果を生み出しやすい状態になることから、業務改善への推進を見がたす。業務改善へは、組織のアウトプットを高めるためには、業務プロセスを実際に回す教員や職員が、気持ちよく、安心して働く環境が整っていることが重要である。

シティプロモーションの推進について

シティプロモーションの展開には、区施設が持つポテンシャルを把握し、区外に対する戦略を明確に定める必要があります。そのためには、友好交流都市の積極的な活用に合わせ、多角的視点による議論に基づいた計画の策定と交流人口増加の観点から課題に対する評議分析を行うなど、施策の見直しを行うべきである。

〔地域資源ブランドの確立・発信について〕地域資源のブランド化に向けては、板橋区の暮らしやすさに改めて着目するとともに、既にある地域の魅力をより一層引き出すとともに、既にある地域の魅力をより一層引き出すため、好事例を参考に区が積極的に施策を展開すべきである。併せて、区民や区にゆかりの人物が感じる区の魅力をストーリー化して発信するなど、人財を地域資源の一つと捉え、活用する必要がある。

元山芳行の政策

元山芳行は、職員のパフォーマンスの向上がもたらされ、良質な区民サービスが提供できると考える。そのための心理的安全性を確保することが最重要があるが、見解は。

地域資源ブランドの確立・発信について

地域資源のブランド化に向けては、板橋区の暮らしやすさに改めて着目するとともに、既にある地域の魅力をより一層引き出すとともに、既にある地域の魅力をより一層引き出すため、好事例を参考に区が積極的に施策を展開すべきである。併せて、区民や区にゆかりの人物が感じる区の魅力をストーリー化して発信するなど、人財を地域資源の一つと捉え、活用する必要がある。

シティプロモーションの推進について

シティプロモーションの展開には、区施設が持つポテンシャルを把握し、区外に対する戦略を明確に定める必要があります。そのためには、友好交流都市の積極的な活用に合わせ、多角的視点による議論に基づいた計画の策定と交流人口増加の観点から課題に対する評議分析を行うなど、施策の見直しを行うべきである。

〔介護予防の推進について〕高齢者の健康づくり及び社会参加の機会創出には、地域の自主性・主体性に基づいた取組みと活動の支援が重要であり、多様な住民主体による通いの場の展開が求められる。また、通いの場などに定期的に通っていた方で、顔を出さなくなつた方がいた場合には、運営側と行政が連携を図り、コンタクトを取るなど、安否確認を含めて見守る機運を高めるべきである。

ヤングケアラー支援について

ヤングケアラー支援については、ヤングケアラーの周知・啓発においては、啓発動画やチラシに子ども権利の内容をわかりやすく掲載するとともに、実態調査の結果を踏まえ、関係機関などの職員に対し、広く周知することが重要である。また、元ヤングケアラーをスピーカーとして招聘する場合は、区民が参加できる機会を設けるべきである。

ヤングケアラー支援について